

平成30年度当初予算の重点施策

1. 群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」整備の推進

2. ハツ場ダム建設にともなう生活再建の推進

3. 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

- ・特別支援学校体制整備(高等部未設置地域解消、全地域で重複障害の児童生徒受入)(H30年4月)
- ・桐生・みどり地区新高校整備(新規)
- ・次代を担う職業人材育成のための教育設備充実
- ・東部児童相談所・一時保護所の整備
- ・子どもの居場所づくりの推進
- ・介護人材確保対策
- ・障害者雇用の推進

4. 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

- ・地域包括ケアの推進
- ・認知症施策の推進
- ・健康寿命延伸対策
- ・国民健康保険特別会計の設置(新規)
- ・有害鳥獣対策の強化
- ・高崎北警察署(仮称)新設整備
- ・災害に強い県土を築く防災・減災対策
- ・県有施設長寿命化推進

5. 産業活力の向上・社会基盤づくり

- ・ぐんま総合情報センター運営
- ・世界遺産センター整備・運営
- ・農畜産物等輸出促進
- ・県産シルクブランド力向上支援(新規)
- ・東国文化・上野三碑周知
- ・ぐんま県境稜線トレイル全線開通
- ・コンベンション推進・関連産業参入支援
- ・道路ネットワークの構築

群馬の未来を創生するための主な体制整備

1. 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

県内大学の活性化や地域貢献を促進し魅力を高め、群馬の未来を担う若者の育成を図るための体制整備

- ・ **「公立大学法人」の設置**（総務部、健康福祉部）
県立大学の計画的かつ自主・自立的な運営を図るため、公立大学法人を設置し、女子大学及び県民健康科学大学の運営を移行
- ・ **「全国高校総体推進室」の設置**（教育委員会）
平成32年度に本県で開催する全国高等学校総合体育大会（夏季大会）の準備を着実に進めるため、健康体育課に「全国高校総体推進室」を設置

2. 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

災害の少ない「安全」な県土づくりを進めるとともに、災害時の被害を最小限にとどめるための体制整備

- ・ **「水害対策室」の設置**（県土整備部）
水害発生に備えた減災対策の取組を進めるとともに、水害警戒時の情報を一元管理することで、洪水等の水害へ適切かつ迅速に対応するため、河川課に「水害対策室」を設置

3. 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

群馬の強み・魅力を活かした産業活力の向上と群馬のイメージアップを実現するための体制整備

- ・ **「コンベンション推進局」の設置**（企画部、産業経済部）
Gメッセ群馬をはじめ、県内全域へのコンベンション誘致活動をより強力に推進し、県内産業の活性化や新たな雇用の場の創出を図るため、企画部コンベンション推進課を発展的に改組し、産業経済部に「コンベンション推進局」を設置。同局に「コンベンション推進課」と「コンベンション施設整備課」を設置し、局長を司令塔として全庁を挙げて推進する体制を構築
- ・ **「海外ビジネス支援室」の設置**（産業経済部）
ベトナムとの経済交流を始め、県内ものづくり企業の海外ビジネス支援や地場産品の輸出促進などを図るため、工業振興課に「海外ビジネス支援室」を設置

第15次群馬県総合計画

3つの基本目標

- 1 地域を支え、経済・社会活動を
支える人づくり
- 2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり
- 3 恵まれた立地条件を活かした
産業活力の向上・社会基盤づくり

1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

①群馬の未来を担う子ども・若者の育成

- ・(新)公立大学法人運営費交付金(15億3,305万円)
- ・東部児童相談所の移転整備(2億7,723万円)
- ・子どもの居場所づくりの推進(608万円)
- ・(新)社会的養護自立支援(928万円)
- ・(新)里親委託等推進強化(174万円)
- ・(新)桐生・みどり地区新高校整備(1億7,671万円)
桐生高校と桐生女子高校、桐生南高校と桐生西高校を統合し、平成33年4月に新たな高校として開校するため、必要な施設整備を進める。
- ・次代を担う職業人材育成のための教育設備充実(3億円)
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等配置
(3億2,586万円)
- ・ぐんま少人数クラスプロジェクト(12億9,265万円)
- ・(新)教員多忙化解消(スクール・サポート・スタッフ
及び運動部活動指導員配置)(8,500万円) など



こども食堂

②群馬の飛躍と地域の安心を支える職業人材の育成

- ・医師確保対策(3億9,620万円)
群馬大学等と連携し、各地域における適正な医師配置の取組を開始
- ・看護職員修学資金貸与(8,498万円)
- ・介護人材確保対策(1億2,089万円) など

③交流・移住・定着促進

- ・ぐんま暮らし支援(4,344万円)
若年層への情報発信を強化し、本県への移住を促進
- ・若者就職支援(1億3,829万円)
Gターン全力応援、ジョブカフェぐんま運営
など

④家族の理想実現

- ・総合的な少子化対策推進(6,396万円)
第5期ぐーちょきパスポートの作成や今後の少子化対策の企画立案の基礎資料となる県民意識調査を実施
- ・子ども・子育て支援事業費(114億930万円)
- ・子ども医療費補助(39億9,109万円)
- ・第3子以降3歳未満児保育料免除(3億2,362万円)
- ・働きやすい職場環境づくり(522万円) など

⑤多様な人材の活躍応援

- ・特別支援学校整備(沼田、藤岡、富岡、吾妻特支及び太田高等特支)(27億1,898万円)
- ・特別支援学校医療的ケア推進(5,661万円)
- ・特別支援学校へのスクールバス導入(2億2,535万円)
- ・障害者雇用促進強化対策(4,521万円)
- ・働く女性の活躍推進(1,677万円)
- ・離職者等再就職訓練(6億3,308万円)
- ・(新)農福連携推進(527万円)
- ・外国人材活用支援(130万円) など



ジョブカフェ・マザーズ

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

⑥安全な暮らし実現

- ・県有施設、県立学校長寿命化推進(20億4,000万円)

県有施設等の老朽化状況を踏まえ、計画的に長寿命化工事を実施

- ・災害に強い県土を築く防災・減災対策(118億1,461万円)

局地的豪雨や台風による災害を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るため、道路防災や治水対策、土砂災害対策を実施

- ・振り込め詐欺等根絶対策(4,674万円)

- ・警察署・交番整備(9,090万円)

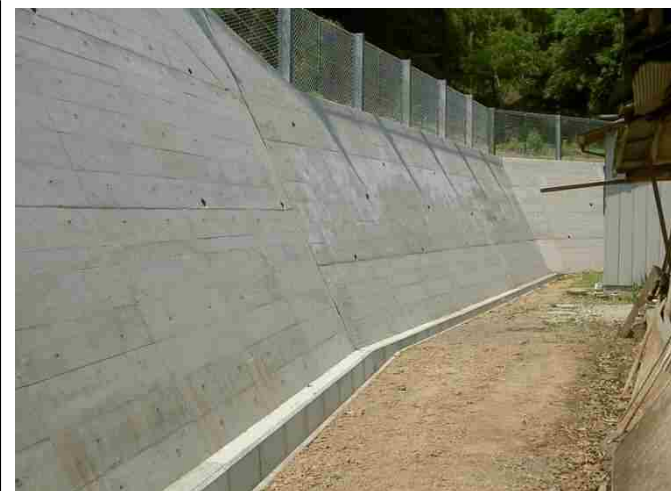
高崎北警察署(仮称)のH34年4月開署に向け基本・実施設計を実施、並びに老朽化した高林交番(太田市)の移転新築を実施

- ・(新)防災情報通信ネットワークシステム更新整備実施設計

(8,800万円)

老朽化した通信設備について、新たな無線基準の導入を契機に、計画的に更新

- ・交通安全施設整備(14億7,896万円) など



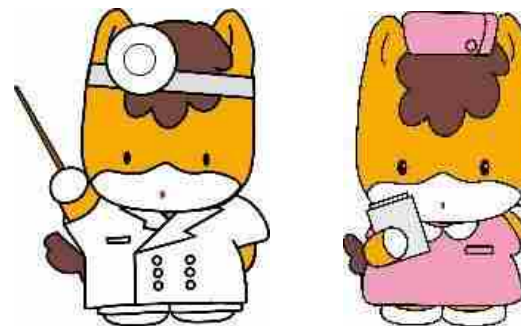
防災減災(砂防)



⑦医療・福祉連携による優しいぐんま推進

- ・病床の機能分化・連携推進(2億5,272万円)
- ・健康寿命延伸対策(869万円)
県内のウォーキングルートに掲載した「ぐんま元気アプリ」の制作、
糖尿病予防指導プログラムの開発等
- ・認知症施策の推進(5,985万円)
- ・地域包括ケアの推進(977万円)
- ・(新)「我が事・丸ごと」の地域づくり推進(742万円)
様々な福祉的課題を、地域住民自らが支え合って解決していく地域
づくりのため、部局横断的な推進本部を設置するとともに、コーディネーターによる社会福祉法人間の連携支援に取り組む
- ・地域密着型介護拠点等整備・開設準備経費補助
(12億413万円)
- ・老人福祉施設整備費補助(3億8,213万円)
- ・医療的ケア児等支援強化(566万円)
在宅の重度心身障害児(者)の訪問看護支援事業を充実し、介護する
家族のレスパイト時間を確保
- ・福祉医療費補助(85億1,346万円)
- ・(新)国民健康保険特別会計の設置
(1,843億4,688万円)
平成30年度から県が国民健康保険の財政運営を担うため、新たに特別会計を設置

など



ウォーキング講習会

⑧優れた群馬の環境の保全・継承

- ・ライフル射撃場整備推進(8億8,508万円)
- ・ぐんま緑の県民基金事業(8億7,888万円)
- ・有害鳥獣対策(7億8,749万円)

有害鳥獣による農林業被害や市街地出没による事故を軽減するため、関係者が連携し、様々な対策を実施

- ・汚水処理施設整備費補助(6億5,417万円) など



ぐんま緑の県民基金事業(荒廃した里山・平地林の整備)



消防団員による消防活動

⑨地域住民がともに助け合う「地域力」強化

- ・地域調整費(3億9,300万円)
地域の実情に応じた地域活性化の取組を支援
- ・(新)学園祭での消防団員確保活動(90万円)
次世代の担い手を確保するため、大学の学園祭に募集ブースを出展
など

3 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

⑩群馬の未来を見据えた経済・雇用戦略の展開

- ・コンベンション施設整備(108億3,921万円)
平成32年春の開所に向け、「Gメッセ群馬」を整備
- ・コンベンション推進(2,572万円)
「Gメッセ群馬」の開所に向け、ロゴ及びシンボルマーク制作や指定管理者の選定、誘致活動の実施
- ・農畜産物等輸出促進(4,591万円)
- ・企業誘致推進補助金(7億1,921万円)
- ・(新)ロボット導入促進(1,468万円)
製造現場やサービス現場へのロボット導入を支援
- ・中小企業の海外ビジネス支援(2,208万円)
- ・海外セールスプロモーション(3,206万円)
- ・産業団地等整備(13億2,300万円) など



群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」イメージ図



農畜産物等輸出促進(ミラノ国際博覧会出展フォロー)

⑪群馬の産業の強みを活かす戦略



山土場での仕分検知集積



繭出荷の様子

- ・林業・木材産業構造改革(1億245万円)
- ・(新)県産材流通改革促進対策(1,470万円)
 - 木材流通コストの削減や製材工場の安定稼働を図るため、需給調整や仕分・検知に要する経費を助成
- ・ぐんまの木で家づくり支援(3億円)
- ・担い手への農地集積・集約化(4億3,118万円)
- ・「野菜王国・ぐんま」総合対策(1億4,000万円)
- ・野菜価格安定(野菜生産出荷安定資金造成費補助)
(3億4,131万円)
- ・蚕糸業継承対策(6,463万円)
 - 多様な担い手の確保・育成を図るとともに、県産繭・生糸の流通を促進
- ・(新)県産シルクブランド力向上支援(1,000万円)
 - 県産高品質生糸を使用した製品の開発支援、県産シルク製品の各種PRを実施
- ・県産農畜産物ブランド力強化対策(4,014万円)
- ・ぐんまの地場産業振興プロジェクト(3,634万円)
- ・＜中小企業振興資金特別会計＞制度融資(397億4,444万円)
- ・千客万来支援(1億2,500万円)
- ・魅力ある観光地域づくり推進(7,565万円)
- ・ググっとぐんま観光キャンペーン(1,630万円) など

⑫豊かな文化・魅力を活かしたイメージアップ

- ・ぐんまのイメージアップ(1,114万円)
Instagramフォトコンテストの開催、NEWぐんまちゃん家で女子会を実施
- ・ぐんま総合情報センター運営(1億4,495万円)
移転後のぐんま総合情報センター(ぐんまちゃん家)において、季節ごとの「群馬の食」を提供することで、食を通じた群馬の魅力をPR
- ・世界遺産センター整備・運営(1億8,361万円)
- ・「世界の記憶」上野三碑周知(500万円)
- ・東国文化周知(2,655万円)
- ・(新)魅せる群馬の文化応援(1,000万円)
地域の文化を磨き上げ、県内外に発信する取組を支援
- ・(新)戦略的文化芸術創造(3,000万円)
富岡製糸場や群馬交響楽団など、本県ならではの文化資源を活用したコンサート等を実施
- ・群馬交響楽団支援(3億1,392万円)
- ・ぐんま県境稜線トレイル活用推進(3,104万円)
- ・競技力向上対策
目指せ！未来のアスリートわくわく運動プロジェクト
(2億600万円)
など



ぐんまちゃん家で女子会



ぐんま県境稜線トレイル(笠ヶ岳山頂から避難小屋、奥は朝日岳)

⑬群馬の未来を支える社会基盤づくり

投資的経費合計 1,111億1,060万円

・公共事業費予算(781億円)

・補助 231億3,700万円(H29当初比▲1.7%)

・単独 549億5,300万円(H29当初比▲6.6%)

・道路ネットワークの構築(210億2,723万円)

県内の高速交通網の効果を最大限に活かすため、「7つの交通軸」の整備や、地域間の円滑な移動を確保するため、「まちのまとまり」をつなぐ道路整備を推進

・コンベンション施設整備(108億3,921万円)(再掲)

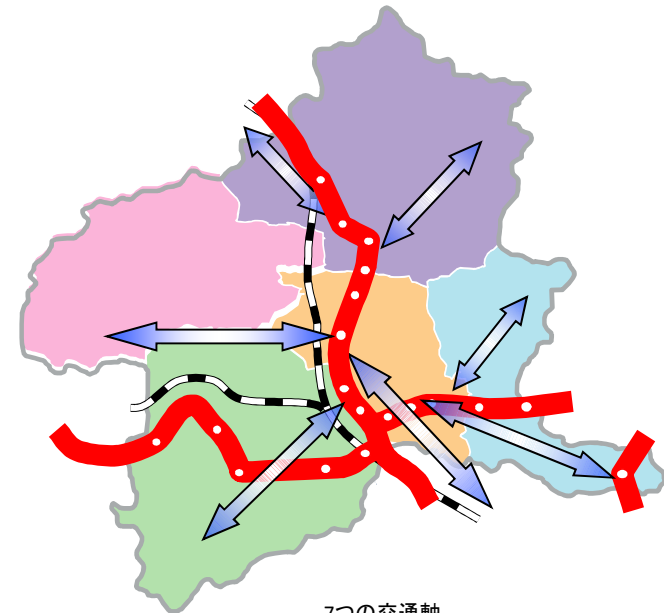
・ステーション整備(3,239万円)

・(新)交通まちづくり戦略推進(1億1,367万円)

・ハッ場ダム関連(146億4,705万円) など



「7つの交通軸」の整備(南新井前橋線)



7つの交通軸